

地域密着型金融の 取組み状況について

平成22年5月



清水銀行



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

目利き能力をさらに強化して、お客さまの様々な成長段階に合わせたアドバイス・各種手法の活用等を行うことにより、お客さまを支援し地域の金融円滑化を図る。

(1) 創業・新事業支援

地域における創業・新事業を支援するため、起業・新事業展開に資する情報の提供、資金供給等、お客さまの成長段階に応じた適切な支援を行う。

(2) 経営改善支援

地域経済の持続的発展に寄与するため、コンサルティング機能や情報提供機能の一層の充実等により、お客さまに対する経営改善支援機能の強化を図る。

(3) 事業再生支援

事業再生スキル・ノウハウの向上、外部機関・外部専門家との連携を強化して、支援先企業の実態にあった再生手法を選択していくことにより、事業再生業務の質の向上とスピードアップを図り、当該企業の再生のみならず、地域の再生へつなげる。

(4) 事業承継支援

お客さまの事業承継に関するニーズを的確に汲み取り、地域情報ネットワーク、外部専門家等との連携による情報を活用しながら、本部・営業店が連携を強化して事業承継支援に取り組む。



2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

お客様の将来性や技術力を的確に評価する目利き能力の向上により、不動産担保・保証に過度に依存しない融資を促進するとともに、資金調達手法の多様化への対応を進めて地域の金融円滑化を図る。

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

多様化するお客様の資金ニーズに対応するため、シンジケートローン、A B L（動産担保融資）などを活用し、資金供給機能を強化する。

(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

お客様の技術力や将来性を的確に評価できる「目利き能力」をもった人材の育成を図り、不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の推進を図る。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域産業の活性化や地域企業の競争力強化を支援するとともに、地域のかかえる諸問題の解決などに地域金融機関として積極的に参画し、地域全体の活性化に貢献する。

(1) 地域全体の活性化、持続可能な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

お客様のニーズに対応した様々な金融サービスの提供や利便性の向上を図る。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域金融機関としての社会的責任を果たすため、地域全体の活性化・持続的な成長を視野に入れた取組みを行う。

地域密着型金融の取組み



清水銀行

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

今後の地域活性化の一翼を担うことが期待される、創業者・新事業に取り組むお客さまを支援する融資を実施しました。

平成21年度中

46件

867百万円

(2) 経営改善支援

地域経済の持続的発展に寄与するため、コンサルティング機能や情報提供機能の一層の充実を図るため、ビジネスマッチングを実施しました。

平成21年度中

166件

お客さまの中長期的な経営改善計画の策定を支援することで、コンサルティング機能の発揮に努めました。

平成21年度中

52先

地域密着型金融の取組み



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(3) 事業再生支援

企業サポート部が主体となって、中小企業再生支援協議会や外部コンサルタントと連携して、事業再生支援に取り組めました。

経営改善支援等の取組み実績

[21年4月～22年3月]

(単位: 先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組 み先	うち			経営改善支援取組 み率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /
			のうち期末に債 務者区分がランク アップした先数	のうち期末に債 務者区分が変化し なかった先	のうち再生計画 を策定した先数			
正常先	6,264	64		25	17	1.0%		26.6%
要注意 先	2,855	191	4	172	132	6.7%	2.1%	69.1%
うち要管理先	15	1	0	1	1	6.7%	0.0%	100.0%
破綻懸念先	344	39	6	29	26	11.3%	15.4%	66.7%
実質破綻先	129	2	0	0	0	1.6%	0.0%	0.0%
破綻先	43	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計(~ の計)	3,386	233	10	202	159	6.9%	4.3%	68.2%
合計	9,650	297	10	227	176	3.1%	3.4%	59.3%

(4) 事業承継支援

事業拡大・事業再編および事業承継に関するM&Aに外部機関と連携して取り組んでおります。

平成21年度中

1件

地域密着型金融の取組み



清水銀行

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

多様化するお客さまの資金ニーズに対応するため、ABL（動産担保融資）制度を導入し、資金供給機能の拡充に努めました。

平成21年度中

3件

160百万円

(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

お客さまの技術力や将来性を的確に評価できる「目利き能力」をもった人材の育成を図るため、行内研修や土曜講座を中心に研修体制の充実化を図りました。

【渉外実践研修】



研修参加延べ日数（研修参加人数×研修日数）

平成21年度中 6,981日

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域全体の活性化、持続可能な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

静岡県中部の駿河湾地域に、地元企業のニーズと大学の研究シーズを産学官連携により集約し、21世紀型都市の創造と新事業の創出を目的とした「駿河湾地域新事業推進研究会」に行員1名を派遣し、研究テーマの実用化に向けて取組んでおります。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の学生は地元企業への就職率が高く、次世代を担う学生に対して金融に関する知識を広めることで、地域活性化に努めております。

【静岡県立大学 地域金融論】



平成21年度中

受講者

静岡県立大学 経営情報学部「地域金融論」 49名

インターンシップ(大学生対象) 23名

ワークラリー(大学生対象) 21名

職場体験学習(高校生対象) 2名

地域密着型金融に関するトピックス

東海財務局主催の「第2回地域金融シンポジウムinしずおか」にて、清水銀行の地域密着型金融の取組みが表彰されました。



内容

日時：平成22年2月1日(月)

場所：静岡県男女共同参画センター あざれあ

テーマ：リレバン追究のための目利き養成とコンサルティング営業の実現